

投票受付中!

第4回

あなたが選ぶ かごしま景観大賞

特典

鹿児島県の
特産品
(5千円相当)

抽選で投票者8名に
プレゼント!

※Instagramでの
投票は対象外です



かごしまPRサポーター
さくらじまん

県内にある良好な景観を保全・創出するための活動をしている
個人又は団体を表彰します。

投票方法

良好な景観の保全・創出に寄与していると思う活動に
投票してください(1人1回まで、複数選択可)

※投票結果も踏まえて、審査会により
「あなたが選ぶかごしま景観大賞」を決定します!

投票期間

R6年11月12日(火) ▶ R6年12月13日(金)

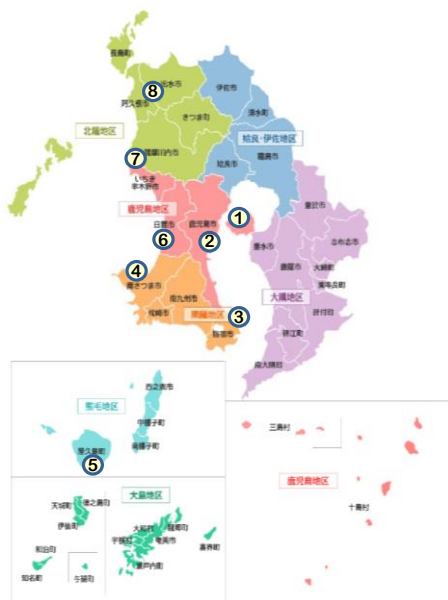
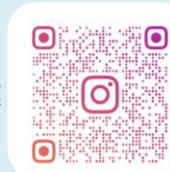
投票場所

● 展示会場

- ・鹿児島県庁2階 県民ホール(最終日は17時まで)
- ・イオンモール鹿児島2階 YogiboStore付近(最終日は15時まで)

- インターネット ● インスタグラム

「いいね!」で投票



投票対象一覧

活動内容の詳細は、インターネット(添付のPDF)やInstagramでも確認できます!

① 桜島の失われた伝統行事
「岳参り」の復活



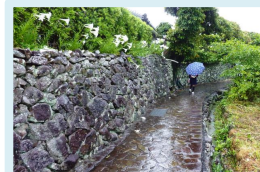
② そらまめキッズ 東谷山



③ 鹿児島銀行 指宿支店



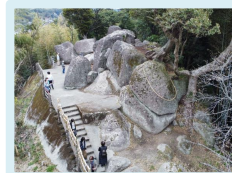
④ 石垣群の里 大当



⑤ 屋久島シドッティ
上陸地展望タワー



⑥ 吹上妙見神社と巨石群



⑦ 自然観光公園
「柳山アグリランド」



⑧ 川平の巨石群



投票受付中!

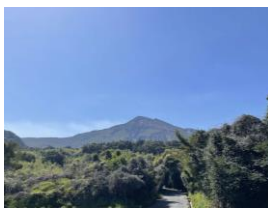


1 桜島の失われた伝統行事「岳参り」の復活

鹿児島市

活動者：NPO法人Social Business Lab.コミュニティ桜島

活動者の声



※上記写真は、桜島

地域住民が管理している御嶽龍王権現神社を、高齢化のなかでどのように保全・管理を行うかが課題となっていた。地域外の人たちに神社を知ってもらうことで解決の糸口になるのではという考えから、桜島に伝わる岳参りをもとにした「桜島ウォーク」を開催することとした。

火山とともに歩んできた思いや、美しい伝統や文化が残る桜島の景観を楽しんでもらいたい。

●桜島ウォークの開催

開催時期：令和6年3月（3回）、5月（2回）実施。
※令和6年11月～12月も開催予定。

・権現神社までの道中には、桜島の特徴でもある椿の花や、特産品の桜島小みかん畑、眺めのよい場所では霧島連山を望むことができる。先頭から最後尾までスタッフがサポートし、ガイドによる説明を行っている。ガイドでは、集合場所である温泉施設、道中の景色、権現神社について説明をしている。

・ウォーキングイベント中には道中の清掃を行っており、参加者が自主的に清掃に参加してくれることも。

・ゴール後には、神社の御朱印代わりに切り絵の参加賞を配布しているほか、さくらじま白浜温泉センター等の協力により、割引料金で温泉に入れるなど、桜島を満喫することができる。

2 そらまめキッズ 東谷山

鹿児島市

活動者：株式会社インタック

活動者の声

ことばの教室そらまめキッズを運営する株式会社スカイメディケアラボから、「末広がりの意味をもつ8にちなんで、8店舗目となる東谷山の教室は特別な店舗を」との依頼があり、今回の外構を設計した。

ことばの教室は療育施設。訪れる子供たちが安心して癒やされるような店舗に、また地元で愛されるランドマークになるように想いを込めた。

●そらまめキッズ東谷山の外構設計

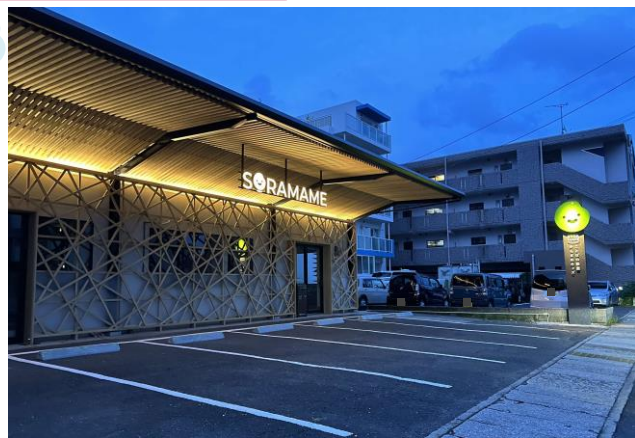
完成年度：令和6年度

・そらまめという店舗名から、植物ということで相性が良さそうな木を連想し、約300本の無節の杉の木を、末広がりになるように配置。有彩色を抑えることで、景観への配慮につながっている。

・壁は橙系統の2色になっていたところを、景観に馴染むように薄めのグレーに塗装した。また、屋根の支えである鉄骨の角度に沿うように垂木を取り付け、美しい木の屋根に仕上げている。

・周囲は住宅街のため、光が強くないように照明に減光カバーをつけており、温かみのある電球色で照らしている。

・依頼主の方への感謝を込めて、デザインや工程を紹介するYoutube動画を作成した。住民やオープン前のお店への配慮のため、大工職人の協力のもと、事務所で事前に仮組みをして解体し、現場では3日程の短期間で仕上げるようにした。



投票受付中!



3 鹿児島銀行 指宿支店

指宿市

活動者：株式会社武元順彦アトリエサンク



活動者の声

鹿児島銀行指宿支店から「南国らしく」「地域に愛されるランドマーク」となる銀行を目指したいと依頼を受けた。

指宿市の市の蝶で、幸せを呼ぶ蝶と呼ばれる「ツマベニチョウ」からインスピレーションを受けて設計した。南国リゾートを連想させるようなどこか陽気な、また温もりも感じさせ、訪れる人々を、地域を、大きく優しく包み込んでほしいとの想いを込めている。

●鹿児島銀行指宿支店の設計・建設

完成年度：令和6年度

・ダイナミックな大屋根の外観は、ツマベニチョウの白と羽先の鮮やかなオレンジ色を表現しており、ツマベニチョウの羽ばたきをイメージしている。

・指宿市の花であるハイビスカスや、南国らしさを感じさせるフェニックスなどを植栽して、街並みに潤いを生み出している。

・南国らしさをイメージして、銀行内部の床や天井は木目調としている。また、応接室にはツマベニチョウや菜の花などの写真を展示しており、指宿市らしさを感じさせる。

・地域の賑わいづくりの場となるように、入口にはコミュニティスペースを設置している。また、看板や車止めには地元山川石を活用している。

4 石垣群の里 大当

南さつま市

活動者：大当かんむつ・にいむつ会

活動者の声

大当（おおとう）集落は、傾斜地を生かし各家の基礎を石積みとした集落。集落全体に石垣が続いている。

旧笠沙町に人を呼び込み、地域を活性化させたいという思いから、地元である大当石垣群の順路を考案し、道歩き案内を開始した。大当集落の素晴らしさを皆さんに知っていただきたい。

●石垣群の里の案内

活動開始：令和6年

・集落の入口にある大当多目的集会所に、道歩き案内の旗を立てており、集会所の入口には、大当集落を紹介するパンフレット等を設置している。パンフレットは、大当かんむつ・にいむつ会の説明をもとに、南さつまサロン化プロジェクトを活用して大学生が作成している。

・順路は1時間コースと30分コースに分けられており、案内の矢印などを設置している。順路に従い散歩することもできるが、その場でガイドを依頼することも可能。

・ガイドを依頼すると、大当集落で見ることができ、さつま野菊などの植物や、集落内の呼び名、その由来について説明を聞くことができるほか、見晴らしのよい展望所では、野間岳と金峰山を眺めながら、昔話も楽しめる。

・石垣群は滅多に崩れないが、大雨で崩れたことがある。石垣の維持管理や経費に充てることができればと、集会所入口に善川（大当川、地元では銭川という人も）で浸した五円玉と、賽銭箱ならぬお気持ち箱を置いている。



投票受付中!



5 屋久島シドッティ上陸地展望タワー

屋久島町

活動者：NPO法人やくしま未来工房

活動者の声

シドッティ上陸地展望タワーは、同法人のスタッフである建築家ウィリアム・ブラワー氏が、デザインと施工を手がけた。展望タワーからは、シドッティ上陸地を展望することができる。

屋久島シドッティ記念館の設立を目指すなか、活動のシンボルとして展望タワーを建設した。パネル展や講演会などの普及・啓発活動を今後も続けながら、江戸時代中期に屋久島に上陸した、イタリアの宣教師シドッティの功績を、屋久島の文化遺産として後世に遺していきたい。

●シドッティ上陸地展望タワーの建設、周辺整備 完成年度：令和6年度

・エコロジカルで温かみのある素材を使用することを意識しており、鹿児島産の杉の木を使用した木造らせん階段仕様のタワーとなっている。曲面の壁に太陽の光が当たることにより、光や影の変化を見て楽しむことができる。周囲に溶け込みながらも過去の歴史に光を当てるデザインをコンセプトとした。

・安全柵や手すり、デッキ、ベンチを設置しており、安全にシドッティ上陸地の入り江を展望できるようにした。タワーには、写真付き説明板を設置しており、シドッティについて学ぶことができる。

・展望タワー周辺は、月1で草刈りを行っている。また、小島区住民の田んぼや、記念館建設予定地で、ひまわりの播種を行っている。稲刈りが終わった12月、辺りの水田は一面ひまわり畑と化し、住民や観光客が写真を撮りに訪れる。



6 吹上妙見神社と巨石群

日置市

活動者：長野 勝悟

活動者の声

吹上妙見神社は、島津氏が戦の前に勝利を祈願したとされる神社。神社の歴史を知ったことをきっかけに、妙見神社と巨石群は守るべき場所であると確信した。

中之里地区の住民による清掃や整備等の協力もあり、多くの方がその魅力を知り、訪れるようになったと感じている。地域に対する誇りや愛着につながるように、活動を続けたい。

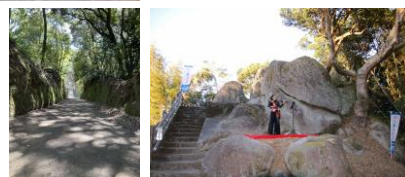
●吹上妙見神社の整備

活動開始：令和3年

・竹が生い茂り景色が見えない状況であったが、中之里地区有志や、長野氏が代表を務める吹上未来研究所（地域活性化グループ）の会員等に協力してもらい、竹を伐採して周囲を整備した。個人では週1、2回ほど清掃を実施しており、2ヶ月毎に中之里地区の有志等も一緒になって清掃をしている。

・吹上未来研究所のアイデアで、伐採した竹を、お札として再利用し、感謝の言葉や思いを書き、岩場の近くに絵馬のようにつるせるようにした。建築会社を経営する友人に、札の記載台を設置してもらい、札の制作や補充を長野氏が行っている。

・神社のパンフレットを手がけており、神社の由来や「すべらない、落ちない岩」「努力、祈、成功 岩」などの紹介、巨石の前で開催したバイオリン演奏会の動画QRコード等を掲載している。今では、合格祈願や必勝祈願の聖地として、テレビやラジオ、新聞でも紹介されている。



投票受付中!



7 自然観光公園「柳山アグリランド」

薩摩川内市

活動者：やなぎやま村



活動者の声

平成18年に峰山地区住民と企業が、薩摩川内市高江町を盛り上げようと自然観光公園柳山アグリランドを建設し、住民によるボランティアで運営していた。その後、平成30年に柳山アグリランドの活動に特化した有志団体「やなぎやま村」を立ち上げた。

柳山は地域のシンボリックな場所。柳山を盛り上げようと、柳山四大祭りなどのイベントを開催したことにより、多くの来場者に訪れていただけた。

●柳山アグリランドの整備

活動開始：平成30年

・桜や菜の花、コスモスなどを植栽しており、柳山四大祭り「桜祭り」「サンセット（夕日を楽しむバーベキュー）」「コスモス祭り」「初日の祝」などのイベントを実施している。風景とイベントの両方を楽しむことができる。

・イベント開催前には、公園内や駐車場、柳山山頂展望所に至るまで、清掃や除草作業を実施している。展望所に登ると、360度広がる見晴らしのよい景色や、条件が合えば、川内川あらしを見ることが出来る。

・さつま芋畑を開墾しており、保育園や幼稚園の子供たちも、苗植えや芋掘りに参加している。

・やなぎやま村の立ち上げ以降、寄贈品である遊具やどこでん引き戸、休憩所、草スキー場などを設けており、柳山アグリランドの規模を拡大し、公園整備を進めている。

8 川平の巨石群

出水市

活動者：川平農村公園管理組合

活動者の声

川平農村公園は、高さ4m、周囲30mほどの巨石が、丘の上に点在している珍しいスポット。昭和57年から、地元住民で構成される「川平農村公園管理組合」が公園の維持管理を長年続けている。

住民の高齢化が進む中で大変な部分もあるが、地域住民が子どもの頃から、祭りなどの行事で訪れた思い出の地でもある公園を守っていきたい。

●川平の巨石群がある公園管理

活動開始：昭和57年

・地域放送による呼びかけで、月1回、公園や駐車場、馬頭観世音がある祠などで、清掃や除草作業を実施している。

・巨石の周囲は自然豊かな森で囲まれており、除草作業を実施することで、草や虫をあまり気にせずに、間近で巨石を見ることが出来る。川平の巨石群は、11万年以前に火山から噴出して堆積した凝灰岩が、長い年月の間に、玉ネギ状構造を示すようになり、玉ネギ状構造が更に進行して、同心円状の球形の岩となった。

・巨石の下には、馬の神様をまつる祠があり、かつては馬に乗って参拝し、更に阿久根市にある早馬神社まで参る風習があった。馬の往来がなくなったあとも、地元住民が管理することで、祠の保全につながっている。

